

周産期医療対策事業等

周産期医療協議会
資料 1

周産期医療体制計画の基本方向

(1) リスクに応じた適切な周産期医療の提供

(2) 総合センター等のリスク対応体制の充実

(3) 周産期医療情報センター機能の強化

(4) NICUの確保

(5) 周産期医療情報システムの拡充

(6) 地域連携体制の強化

(7) 地域の実情に応じた医療提供体制の整備

(8) 搬送体制の充実強化

(9) 周産期医療人材の確保及び養成

事業名	事業内容	H24年度の実施状況	H24予算額 (千円)	H25の 方向性
周産期医療協議会の開催	■ 総合的な周産期医療体制の整備及び周産期医療に係る事項について協議	・協議会の開催：平成24年11月20日	558	継続実施
周産期母子医療センター運営事業	■ 総合センター、地域センターのMFICU、NICU、GCU等施設運営に対する支援強化を図るために運営費を補助 ■ センターの充実のため、「母体救命強化」「麻酔科医配置」「臨床心理技術者配置」等の各種加算を実施	・総合センター、地域センターの計9病院に補助を実施 ・今年度、国庫補助メニューとして創設された「麻酔科医配置加算」「臨床心理技術者配置加算」を導入し、対象施設に対して補助することにより、センターの充実を図る	229,017	継続実施
周産期救急搬送コーディネーター事業	■ 円滑な母体及び新生児搬送の調整や周産期医療情報の収集及び提供の機能を強化するため、総合センターへ専任の搬送コーディネーターを配置	(平成23年7月～ 事業開始) ・連絡調整会議 平成25年1月以降開催予定	10,890	継続実施
周産期医療情報ネットワーク事業	■ 周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」の運用による迅速な搬送体制の確保や診療支援、保健指導への活用	・ネットワークの充実を図るためのシステム改修 ・市町村等担当者会議：平成25年1月以降開催予定	4,629	継続実施
周産期医療関係者育成研修事業	■ 周産期医療関連施設等の医師、看護師等に対し、専門的・基礎的知識及び技術の習得のための研修会を開催	・岩手周産期研究会に委託して、「新生児蘇生法講習会」を3地区で開催	826	継続実施
周産期医療施設設備整備事業	■ 周産期医療施設(MFICUに)に必要な医療機器等の設備整備に要する経費に対する補助	・岩手医大に対してMFICUに必要な機器の整備に必要な経費を補助 ※機器の内容については調整中	11,053	継続実施
小児医療施設設備整備事業費補助	■ 小児医療施設として必要な医療機器等の設備整備に要する経費に対する補助	・岩手医大に対してNICUに必要な機器の整備に必要な経費を補助 ※機器の内容については調整中	16,800	継続実施
新生児医療担当医確保支援事業	■ 新生児医療体制の充実を図るため、出産後NICU(診療報酬の対象に限る)に入る新生児を担当する医師に手当を支給する病院に対して、必要な経費を補助	・岩手医大に対して必要な経費を補助	1,267	継続実施
産科医等確保支援事業	■ 産科医等の処遇を改善しその確保を図るため、分娩手当等を支給する分娩医療機関に対して、手当支給に必要な経費を補助	・岩手医大、日赤、北上済生会、県立8病院に対して必要な経費を補助	36,514	継続実施
周産期医療情報連携システム整備事業	■ 周産期医療情報ネットワークシステムや総合電子カルテと連携可能な周産期電子カルテを導入 ■ 胎児の超音波画像診断を他の医療機関に伝送し、妊婦健診や診断時に活用することができるネットワークを構築	・事業検討委員会幹事会を開催(3回予定) ・周産期電子カルテについて、導入に向けての手続き(各病院における調達手続き等)中 ・超音波画像伝送システムについて、導入に向けての手続き(各病院への補助手続き等)中 ・各システムと連携するための周産期ネットワークシステムの改修	1,274,687	整備継続
【H24新規】 周産期医療救急搬送体制整備事業	■ 周産期母子医療センター及び協力病院に新生児搬送用の保育器等、総合センターに高規格周産期専用搬送車を整備し、救急搬送体制を確保	・新生児搬送用保育器等については、今後整備に向けた手続きを実施予定 ・高規格救急車については、整備の可否について導入先の岩手医大と協議中	75,635	H24完了
【H24新規】 周産期医療情報ネットワークシステム連携推進事業	■ 周産期医療情報ネットワークシステムと市町村保健システムとの間でのデータ移行を可能にすることにより、市町村と周産期医療機関との情報連携の推進と市町村のシステムへの加入拡大を図る	・6市町に対して補助を実施 ・事業の実施により、平成24年度末の加入状況は27/33市町村(現在24/33)となる予定	22,000	継続実施
【H24新規】 地域周産期医療関係者スキルアップ事業	■ 周産期医療情報ネットワークシステムを機軸とした周産期医療情報連携の効率的・効果的な運用を図るため、県内の助産師等の医療従事者のスキルアップを図る	・分娩を取扱う病院や診療所のない地域において、ICTを活用しながら安心安全な出産環境の確保に先進的な取り組みを実施している遠野市に事業を委託し研修を実施	10,401	継続実施

[※MFICU：母体・胎児集中治療管理室、NICU：新生児集中治療室、GCU：NICUに併設された回復期治療室]